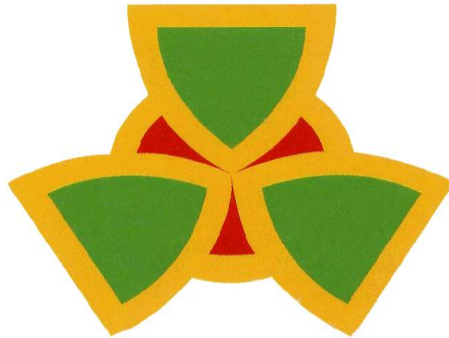


令和6年度 学 校 案 内



きれいに

咲こうよ（主体性）

咲かそうよ（支援）

美咲特別支援学校 教育活動キャッチフレーズ



沖縄県立美咲特別支援学校

〒904-2153

沖縄県沖縄市美里四丁目 18 番 1 号

TEL:098-938-1037・7789・1140

FAX:098-938-7700

URL:<http://www.misaki-sh.open.ed.jp>

1 学校の概要

本校は昭和 47 年 1 月に琉球政府立中部養護学校として認可され、2 月に設立準備事務所を美里小学校図書館に移す。翌月には美里公民館及び美里青年会館を仮校舎として借用し、3 月には「琉球政府立美咲養護学校」、5 月 10 日に開校式挙行（小学部 22 名、中学部 14 名）その後、校名を「沖縄県立美咲養護学校」と改め、昭和 51 年には高等部が設置される。平成 8 年には校舎の全面改修を行い施設・設備が一新され快適な学習環境になった。平成 8、9 年度は文部省指定の「障害児の就学指導に関する調査研究」協力校に指定される。平成 12 年 1 月には幼稚部設置及びプール改築工事が決定、平成 13 年 4 月に念願だった幼稚部の入学式が挙行された。平成 13 年度の 10 月には緑化コンクール「準特選」沖縄県緑化推進委員より表彰を受ける。

平成 21 年 4 月 1 日に校名を「美咲特別支援学校」と改める。平成 26 年 4 月に本校過密化解消を図るため、北中城村の沖縄ろう学校敷地内に「美咲特別支援学校はなさき分校」が開校し、令和 3 年度には「沖縄県立はなさき支援学校」が本校化となる。また、令和 4 年度には「美里高校分教室」、「総合教育センター分教室」が設置された。現在、本校の幼児・児童・生徒数は 405 名、職員数 217 名であり、「自立・社会参加・貢献」のできる幼児・児童・生徒育成と特別支援教育のセンター校として取り組んでいます。

2 本校の教育目標

幼児児童生徒個々の調和のとれた人間性の育成を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、社会の変化に主体的に対応できる知識・技能・意欲・態度等の育成等のキャリア発達を促すとともに、心豊かでたくましく生きる力を育み、個々の教育的ニーズや適性に応じた自立・社会参加・貢献ができる幼児児童生徒を育成する。

- (1) 健康な身体と明るい心の育成（心身ともに健康で明るい子）
- (2) 日常生活を豊かにする生活習慣の形成（身のまわりのことが自分でできる子）
- (3) 豊かな情操を培い、コミュニケーション能力の育成（心豊かで思いやりのある子）
- (4) 粘り強く最後までやり抜く力の育成（目標をもって最後まで努力し進んで働く子）
- (5) 自立・社会参加・貢献に必要な資質・能力の育成（自ら考え学び、行動する子）

3 本校の教育目標を達成するための方針

- (1) 学習指導要領に沿った教育課程の改善・充実を図り、幼・小・中・高等部が連携した系統性・一貫性のある教育課程を編成する。
- (2) 幼児児童生徒の生活年齢、発達段階および障害の状態等に応じた教育課程を編成し、R-PDCAサイクルを循環させて、個別の教育支援計画や個別の指導計画の効果的な活用を図る。
- (3) 幼児児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」につながる学習指導の改善・工夫を心がけ、指導目標と学習評価が対となる「指導と評価が一体化」された、分かりやすい授業の改善を図る。
- (4) 子どもたちの生涯を見通し、一人ひとりの生活自立と地域社会における生活につながる学習活動を重視し、発達段階に応じたキャリア教育の充実を図る。
- (5) 特別支援教育の専門性及び教職員の資質向上を図る為の校内研修の充実を図る。
- (6) 地域における特別支援教育のセンター的役割を果たし、開かれた学校づくりの推進を図る。
- (7) 自然災害や事件・事故、感染症等を想定した特別支援学校における災害対策及び日常の危機管理を徹底し、安心安全な教育環境の整備を図る。
- (8) 教育公務員としての使命と誇りを持ち、服務規律等の法令を遵守し、公正公平な職務の遂行に努め、信頼される学校づくりに取り組む。
- (9) 学校教育活動の充実に向け、管理者や関係者等と連携し、法令等に基づいた適正な学校事務の処理および管理・運営を図る。
- (10) 教職員個々がチーム学校の一員としての自覚を持った学校づくりに取り組む。
- (11) 教員が授業改善のための時間や子どもに向き合う時間に注力できるよう「働き方改革」の推進に取り組む。

4 今年度の重点目標

- (1) 学習指導要領に沿った個別の指導計画および年間指導計画等の実施状況等を踏まえ教育課程の実施状況の評価及び改善の充実を図る。
- (2) 学習指導要領を踏まえた子どもの「学びの履歴」を把握し、育成を目指す資質・能力を考慮した指導内容（題材・単元）を整理し教科指導の充実を図るとともに、的確に捉えた子どもの実態・課題に基づく自立活動の充実を図る。（指導内容確認表、流れ図を活用した個別の指導計画および年間指導計画の作成等）
- (3) 子どもの主体性を重視した「アクティブ・ラーニング」を念頭に、ICT機器等の効果的活用や子ども自身が学習の目標と評価（振り返り）ができる「分かりやすい授業」の工夫を図る。
- (4) 学ぶことと将来のつながりを意識しながら、自立・社会参加・貢献に向けたそれぞれの段階で必要な資質・能力（**か**かわる力、**ふ**り返る力、**や**りぬく力、**み**とおす力）を身に付けていくことができるよう、幼・小・中・高等部が教科等横断的な視点で連携・協働してキャリア教育の充実を図る。

幼・小・中学部等、高等部よりも早い段階から卒業後、社会人として必要とされる、時間を意識した行動や整理整頓・美化、率先した挨拶・返事、望ましい服装容儀である「美咲プライド」（時を守り、場を清め、

礼を正す)の定着・習慣化を図る。

また、高等部においては就業体験の充実を図り、就業支援センター等の労働・福祉関係機関や保護者と連携協力し、職場開拓・進路開拓を進め、卒業後の働く場および生活面の自立を目指す場等の拡充を図る。

- (5) 校内研修を研究と修養に整理して年間の計画に基づいて実施するとともに、教員個々が自ら知的障害教育について研究・修養に取り組むことで、特別支援教育における専門性の向上や学校課題の改善・充実を図る。
- (6) 特別支援教育のセンター的役割として、地域の障害のある子どもやその関係者のニーズに応じ、特別支援教育コーディネーターを中心に学校見学や校内職員、外部専門家等を活用した支援・指導を行い、地域社会における特別支援教育への理解・啓発を図る。また、特別支援部として福祉、医療、労働及び市町村、関係機関との連携と支援会議を強化し、幼児児童生徒の支援の充実を図る。
- (7) 日頃から、すべての教職員が学校事故等を防ぐ「危険予知」を心掛け、安全点検等での指摘箇所に対する迅速な改善、防災避難訓練や不審者侵入対策訓練、緊急時シミュレーション等の実際に即した計画・実践等により、危機管理意識の強化を図る。
- (8) 全ての教職員個々が日ごろから法令や服務規律の遵守について、意識し行動すると共に、毎月の「人権を考える日」においては人権意識について共通理解と確認を図る。
- (9) 学校事務について、管理者や関係者等への報告・連絡・相談のもとに適切に判断し、法令や学校事務に関する専門的知識等に基づき、期限内に正確に処理し、予算・施設・人事管理等、学校事務の適切な運営を図る。
- (10) 教職員相互のコミュニケーションや親睦に係る取組を推奨し、報連相しやすい職場環境づくりに努め、効果的・効率的な学校運営に対する参画意識や協働意識を高める。
- (11) 学校安全衛生委員会で働き方改革について可能な方策の検討・試行に取り組み、学部や分掌部等で校務の見直し・精選に努め、教職員個々でも働き方の意識改革に努める。

5 本校の特色

教育内容として、幼稚部では遊びと基本的生活習慣の育成を中心に、小学部・中学部・高等部では学習指導要領の改訂に伴い、各教科を中心とした指導や道徳、特別活動、自立活動等を行っています。卒業後の自立や社会参加・貢献を目指し特色ある学習内容を設定し、幼・小・中・高等部が連携したキャリア教育の充実を図っています。



幼稚部「遊び」



小学部「算数」



中学部「社会」



高等部一般企業での実習



総合教育センター分教室
「職業」授業風景



美里高校分教室
販売学習の様子

【幼稚部・小学部】 幼稚部・小学部では、基本的生活習慣の形成や豊かな感情・表現力を育成し、約束やきまりを守り集団生活に必要な知識・技能を身につけさせる等、「生活する力」の育成を図る指導を行っています。

【中学部】 中学部では、自立し、社会参加・貢献のできる生徒の育成をめざしています。生活経験を豊かにし将来の職業生活や社会生活に必要な協働の精神や協調性、責任感、集中力等を身につけさせる指導を行っています。

【高等部】 高等部では、職業自立を目指した学習（職業）や英・数・国・理・社の主要教科も取り入れた教育課程を編成しています。卒業後の社会参加・貢献のできる生徒の育成を目指しており、特に校内実習、産業現場等における実習を通して体験的な学習を重視しています。中・高等部（各分教室含む）において「校内実習・実習」を行っています。中学部では校内実習を一週間。高等部は二週間の実習期間を設け、「本人の適性及び職場や施設との相性を確認する」「進路決定における現段階の力を知り、主体的に進路を選択する力を育成する」事を目的とし、実施。

【総合教育センター分教室】 総合教育センター分教室では、教育課程は本校と同じながら教科「職業」において「オフィス・アシスタント班」「介護コミュニケーション班」「エコロジーサービス班」を設け、一般就労に向け、より体験的・実践的な学習を行っています。

【美里高校分教室】 美里高校分教室では、本校と同じ教育課程で学びつつ、学びの場が美里高校であるため、美里高校生との交流や協働学習を通して、社交性やコミュニケーション力の向上など社会性の向上が期待されています。

6 通学

児童生徒はスクールバスを利用することができます。各バスにはそれぞれ介助員も乗っており、安全運行に努めています。※卒業後の社会参加・自立を進めるため、自力通学（徒歩や路線バス）の指導も進めています。

7 教育相談・学部説明会

本校では、就学前幼児及び児童生徒の支援・指導についての相談や、学校見学に応じています。お気軽にご相談下さい（事前に連絡をお願い致します）。1学期に各学部の説明会を行っています。

8 入学案内

小学部・中学部への入学につきましては沖縄県教育委員会からの通知に基づいて入学することになります。幼稚部・高等部への入学は、入学選考を行います。入学を希望される方は、本校へお問い合わせ下さい。

9 幼児・児童・生徒数

	学級		児童生徒				
	一般	重複	一般	重複	男	女	合計
幼稚部	2	0	7	0	6	1	7
小学部	21	12	103	35	104	34	138
中学部	13	7	70	19	63	26	89
高等部	11	11	82	31	82	31	113
総合教育センター分教室	5	0	20	0	29	7	36
美里高校分教室	4	0	36	0	10	10	20
合計	56	30	318	85	294	109	403

10 教職員実数

職種	校長	副校長	教頭	事務長	主幹教諭	幼教諭	小教諭	中教諭	高教諭	養護教諭	実習助手	学校事務	司書	栄養教諭	介助員	用務員	非常勤	教員等 支援員	合計
本校	1	1	1	1	1	4	59	41	55	2	2	6	1	1	6	2	6	1	191
センター 分教室			1						10	1							1		13
美里分 教室									12	1									13
																			217

11 進路状況（過去3年間）

年度	一般 就労	就労 移行	就労 継続A	就労 移行B	自立 訓練	生活 介護	職業訓練校 等進学	その他	計
令和3年度	4	16	0	6	4	7	0	1	38
令和4年度	20	14	0	1	6	13	1	2	57
令和5年度	21	13	2	8	0	7	3	3	57

12 学校案内図

